

千葉から戦争を考える その2

僕の町は演習場だった

昭和20年(1945年)8月15日、いつから始まったのかもわからなくなった我が国の戦の歴史は幕を閉じた。松戸の小金原から佐倉・四街道・八街、はたまた市川・船橋・津田沼・千葉に至るまで、広大な下総台地は軍事政策に翻弄された時代を終えることになった。

その足取りを辿ってみることで、戦争というものの功罪を見つめ直すきっかけとしたい。

| 年 | 大きな出来事 | その頃千葉では |
|-------------------------------|---|--|
| 江戸時代以前 | | ◆下総台地は馬を放牧する「牧」だった |
| 江戸時代 | | ◆小金牧を幕府の直轄として軍馬を育成 |
| 天保12年(1841年) | | ◆西洋砲術導入を目的として砲術射的場を設置(佐倉下志津) |
| 嘉永6年(1853年) 嘉永7年(1854年) | ◇ペリー来航(黒船) | ◆佐倉藩主堀田正睦が江戸湾の防衛力強化策に着手(台場設営など) |
| 文久元年(1861年) | | ◆西洋砲術の演習を実施(佐倉藩) |
| 明治元年(1868年) | ◇明治維新 | ◆下総の開墾(13箇所の開墾・入植) |
| 明治6年(1873年) | ◇徴兵令を施行 | ◆下総の牧で軍隊の演習が行われた |
| 明治7年(1874年) | | ◆習志野演習場が発足 (下総台地の国有地を演習場に組み入れ) |
| 明治19年(1886年) | | ◆四街道に陸軍砲兵射的學校を開設 (現在の駅前) |
| 明治27年(1894年) ~明治28年(1895年) | ◇日清戦争 朝鮮は清国から離れて独立 台湾・澎湖諸島・遼東半島を 日本に割譲 | |
| 明治29年(1896年) | | ◆佐倉連隊区を千葉全域の連隊区に改組 ◆高津東廠舎・高津西廠舎を建築 (現在の八千代市高津団地付近) ◆兵站輸送の手段として、鉄道大隊を編成 後に鉄道連隊に昇格 |
| 明治32年(1899年) | | ◆高津廠舎に騎兵旅団を発足 |
| 明治34年(1901年) | | ◆騎兵旅団司令部を大久保に設置 (現在の習志野市大久保) |
| 明治37年(1904年) ~明治38年(1905年) | ◇日露戦争 朝鮮と満州の権益闘争が発端 | |
| 明治40年(1907年) | | ◆鉄道連隊本隊を東京中野から 津田沼に移転 ◆連隊の材料廠を千葉に設置 ◆津田沼から大久保・三山を経由して千葉までを結ぶ軍用鉄道が開通 |
| 明治43年(1910年) | ◇日韓併合条約締結 | |

| | | |
|-------------------------------------|--|---|
| 明治 44 年 (1911 年) | ◇辛亥革命 (清国王朝滅亡) | |
| 大正元年 (1912 年) | | ◆陸軍歩兵学校を東京戸山から千葉に移転 (現在の千葉市天台) |
| 大正 3 年 (1914 年) | ◇第一次世界大戦勃発 ◇中国・満州への進攻激化 ◇ドイツに宣戦布告 | |
| 大正 4 年 (1915 年) | ◇青島 (チンタオ) 進攻に勝利 ドイツ人約 5 千人を捕虜に | ◆騎兵旅団司令部 (大久保) に隣接する場所に俘虜収容所を設置 ドイツ人捕虜の一部を収容 ◆海軍無線電信所を設置 (現在の船橋市行田) |
| 大正 5 年 (1916 年) | | ◆騎兵実施学校 (東京目黒) を習志野に移転し、騎兵学校に名称変更 |
| 大正 7 年 (1918 年) | ◇シベリア出兵開始 ◇第一次世界大戦終結 | ◆津田沼の鉄道旅団を二分化して 鉄道連隊を千葉 (作草部付近) にも配置 ◆諸施設間を結ぶ軍用鉄道や演習用路線を拡充 |
| 大正 10 年 (1921 年) | | ◆陸軍航空学校の分校を下志津に開校 |
| 大正 11 年 (1922 年) | | ◆陸軍射撃学校を野戦砲兵学校と改称 設置場所は四街道 (現在の自衛隊下志津駐屯地) |
| 大正 12 年 (1923 年) | ◇関東大震災 (9/1) 死者行方不明 14 万人 ◇戒厳令発令 | ◆朝鮮人虐殺事件が発生 (船橋・習志野周辺) 虐殺犠牲者は全国で 7 千人 |
| 大正 13 年 (1924 年) | | ◆陸軍航空学校は再編により 下志津陸軍飛行学校と改称 |
| 昭和 2 年 (1927 年) ~昭和 7 年 (1932 年) | | ◆鉄道連隊演習線「松戸線」敷設 演習目的のためカーブが多い (戦後新京成線として活用) |
| 昭和 3 年 (1928 年) | ◇関東軍の独断暴走 数々の問題が発生 ◇張作霖爆殺事件 ◇日本軍 (関東軍) 満州国建国・傀儡化を画策 | |
| 昭和 6 年 (1931 年) | ◇柳条湖事件 (満州事変) 関東軍が南満州鉄道を爆破 | |
| 昭和 7 年 (1932 年) | ◇満州国建国 ◇五・一五事件発生 | ◆騎兵第二旅団は満州移転 跡地に、習志野学校を創設 (現在の習志野市泉町: 東邦大学附属 中学高校など) ◆学校創設の目的は、毒ガスなどの化学兵器 に対する対応強化 |
| 昭和 8 年 (1933 年) | ◇日本は国際連盟を脱退 | |
| 昭和 11 年 (1936 年) | ◇二・二六事件発生 (犬養毅首相暗殺) | |

| | | |
|------------------|---|--|
| 昭和 12 年 (1937 年) | ◇盧溝橋事件 (日中戦争) | |
| 昭和 14 年 (1939 年) | | ◆演習場用地買収 (国有化) が完了 |
| 昭和 15 年 (1940 年) | ◇日独伊三国同盟を締結 | ◆逋信省中央航空機乗員養成所を 松戸に設立 (目的は民間の航空機操縦士 や整備員の養成)。 |
| 昭和 16 年 (1941 年) | ◇南部仏印進出 ◇真珠湾攻撃 (日米開戦) | |
| 昭和 17 年 (1942 年) | ◇山本五十六の命により、 国産軍用機の製造開始 | ◆千葉蘇我村・今井村沖合を埋め立てて飛 行機工場を創設 (日立航空機千葉工場) ◆大網などに山をくり抜いた地下工場も設立 |
| 昭和 18 年 (1943 年) | | ◆陸軍の演習場用地をさらに買い増して 拡張 |
| 昭和 19 年 (1944 年) | | ◆日立航空機千葉工場航空機製造を開始 ◆武蔵野カントリークラブ藤ヶ谷コースを陸軍 が接收 (本土防衛のため飛行場を作るの が目的) |
| 昭和 20 年 (1945 年) | ◇米軍による主要都市爆撃 ◇広島・長崎に原爆投下 ◇終戦 (8/15) | ◆藤ヶ谷陸軍飛行場完成 (4月) 松戸にあった飛行第53戦隊を移管 ◆千葉空襲 日立航空機千葉工場被災 |

*この間の流れの詳細は、「下総台地の160年」を参照下さい。

<http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/shimo160.pdf>

以上